

# 第31期 年次報告書

平成18年7月1日から平成19年6月30日まで



Medical



Medical Device



Industrial Device



Medical



Medical Device



Industrial Device

## 目次

ごあいさつ ————— 2

連結財務ハイライト ————— 3

トピックス ————— 5

セグメント別営業の概況 ————— 7

財務諸表（連結） ————— 9

- 連結貸借対照表 ●連結損益計算書
- 連結株主資本等変動計算書
- 連結キャッシュ・フロー計算書

財務諸表（単体）・株式の状況 ————— 11

- 貸借対照表 ●損益計算書
- 株主資本等変動計算書 ●株式の状況

会社の概要・株主メモ ————— 13

## 株主の皆様へ

株主の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、ここに当社グループ当連結会計年度（平成18年7月1日から平成19年6月30日まで）の営業の概況についてご報告申し上げます。

当社グループの関連する医療機器業界は、PTCA治療（循環器系における低侵襲治療）の治療件数が全世界規模で増加傾向にありますが、国内市場においては、平成17年4月の改正薬事法施行のほか、平成18年4月には保険償還価格の引下げや診療報酬包括化など国による医療費抑制施策が進んでおり、また世界市場においては、大手医療機器企業間のM&Aによる企業編成が進むなど、厳しい事業環境にあります。

一方、当社グループの関連する産業機器業界では、企業収益が高水準で推移し設備投資額が増加傾向にあるものの、原油価格とともにニッケルやステンレス等合金鉄の原材料価格の高騰が続くなど業界全体はさらに厳しい環境下にあります。

このような経営環境の中、当社グループは、「低侵襲治療製品の普及を日本から世界へ積極的に発信し、全世界の患者のQOL（Quality of Life）を高めると同時に、全世界での『ASAHIブランド』の確立を図る」ことをテーマとして継続的に安定した成長を目指すとともに、各事業において成長戦略の加速化と経営体質の基盤強化に取り組んでおります。

その結果、特に医療機器分野において欧米市場を中心とした海外売上高が伸張し、売上高は116億43百万円（前年同期比17.8%増）となりました。利益におきましては、



平成19年1月から第二の生産拠点であるASAHI INTECC HANOI CO.,LTD.が稼動するなど、立上げに伴う先行的な諸費用が増加したほか、予想以上の市場反響に伴う全世界展開の加速化に派生し、海外営業活動費用や薬事関連費用、及び品質保証体制強化に伴う諸費用など、将来の成長性を持続させるための先行的な費用を複合的に投下したことにより販売費及び一般管理費が増加しており、営業利益21億1百万円（同6.0%増）、経常利益22億2百万円（同10.3%増）、当期純利益11億58百万円（同7.5%増）となりました。

当社グループは、研究開発型企業として医療及び産業機器分野において、安全と信頼を基盤とする「Only One」技術や「Number One」製品を世界に発信し続けることにより、全てのお客様の「夢」を実現するとともに、広く社会に貢献していくことを企業理念としております。

当社グループの医療機器分野事業は、主に傷口が小さく痛みの少ない「低侵襲治療」の製品を開発・製造・販売しており、患者様の肉体的・精神的・経済的負担を軽減し、そして医療費抑制にも貢献できる大変意義のある事業であると考えております。

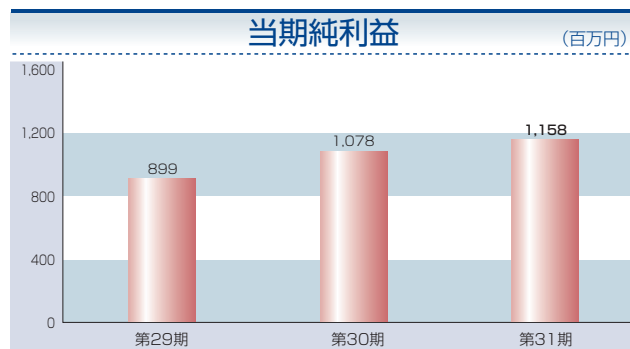
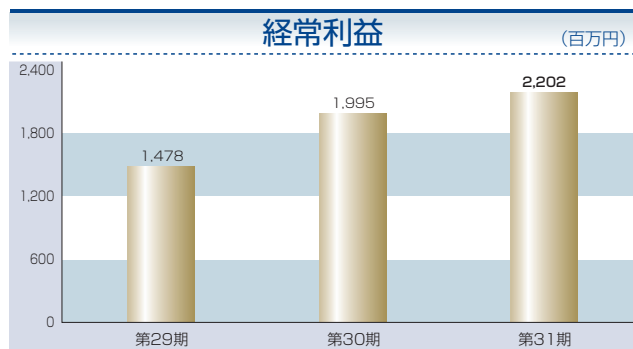
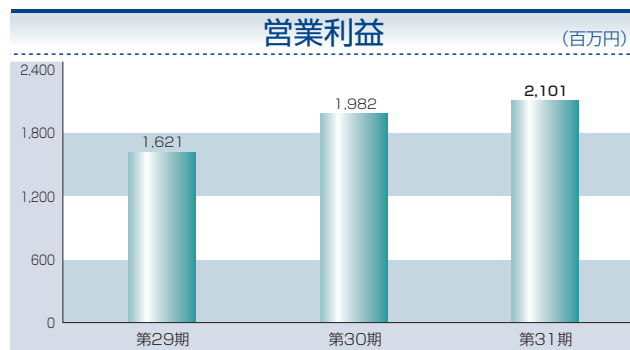
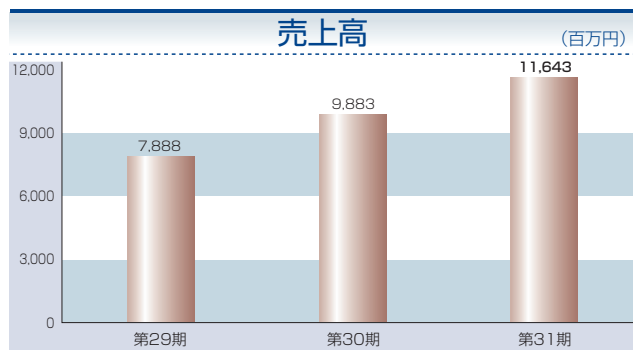
今後も社会に貢献できる企業であり続けることで、社会からも市場からも評価される企業として、さらなる成長を遂げたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

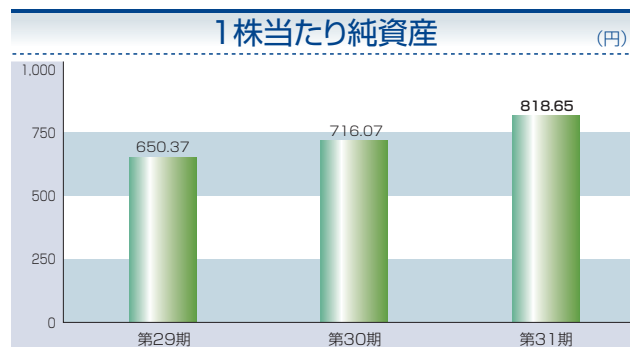
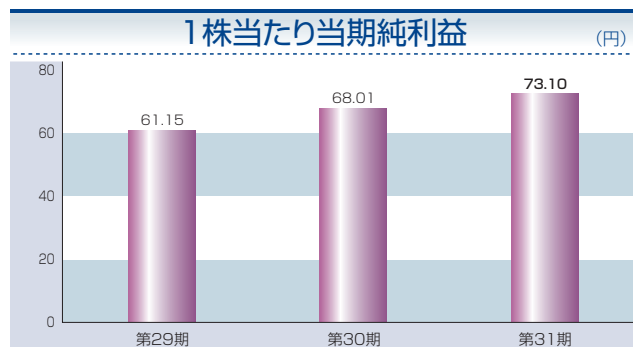
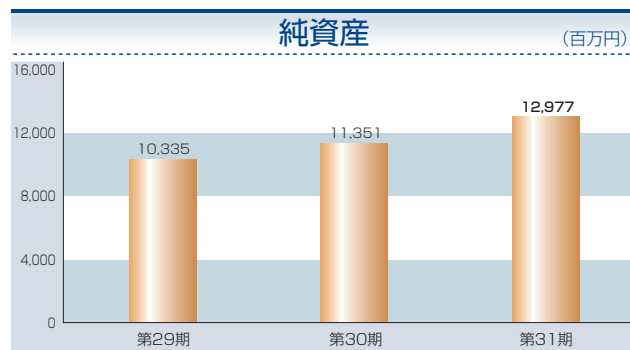
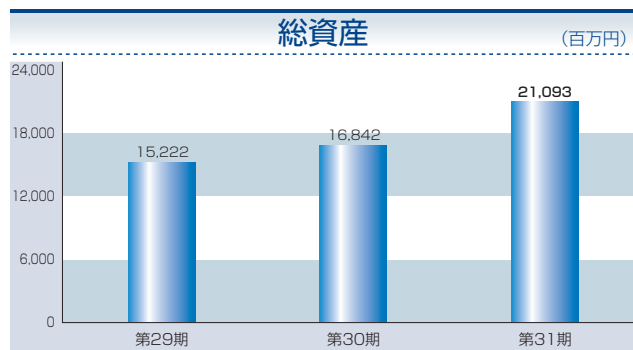
平成19年9月

代表取締役社長

浅田尚彦



区 分	第29期	第30期	第31期
売 上 高 (百万円)	7,888	9,883	11,643
営 業 利 益 (百万円)	1,621	1,982	2,101
経 常 利 益 (百万円)	1,478	1,995	2,202
当 期 純 利 益 (百万円)	899	1,078	1,158
総 資 産 (百万円)	15,222	16,842	21,093



(注) 平成17年8月19日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。  
 上記「1株当たり当期純利益」「1株当たり純資産」のグラフでは、当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の数値を表記しております。

区 分	第29期	第30期	第31期
純 資 産 (百万円)	10,335	11,351	12,977
株 主 資 本 比 率 (%)	67.9	67.4	61.5
1株当たり当期純利益 (円)	122.30 (61.15)	68.01	73.10
1株当たり純資産 (円)	1,300.75 (650.37)	716.07	818.65
1株当たり配当金 (円)	30.00 (15.00)	17.50	17.50

(注) 1.平成17年8月19日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。  
 上記の1株当たりの数値については、当該決算期の平均発行済株式総数に基づく数値を表記しております。  
 2.上記表中第29期( )内の数値は、注1に記載の株式分割を加味し、遡及修正を行った場合の数値を表記しております。

## ロゴマークを刷新



低侵襲治療製品の普及を日本から世界へ向けて発信し、全世界の患者様のQOL (Quality of Life) を高めると同時に、全世界での『ASAHIブランド』を確立するため、ロゴマークを一新いたします。Asahiの「A」とInteccの「I」をパーツに用いて「a」をシンボライズ化。拡大を意味するオーバルイメージと躍進をイメージするイタリック表現により、小さな「a」を出発点として未来と世界に向かう企業姿勢をマークに込めました。また、新設したタグライン “Your dreams.Woven together.” の〈Woven〉は、「編み込む、織られている」を意味する言葉で、当社の最新の技術が夢を可能にしていく、そのような願いを込めています。

## コーディス・ニューロバスキュラー社とのOEM供給契約締結

日本市場において既にジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 メディカルカンパニー（日本法人）にOEM供給を実施し、確実にシェアを拡大している当社グループ製造の肝臓動脈及び子宮動脈をはじめとした腹部用ガイドワイヤーについて、ジョンソン・エンド・ジョンソングループのコーディス・ニューロバスキュラー社に対し、日本を除く全世界市場（2006年度、約130億円と推定）を対象としてOEM供給する契約を締結いたしました。これを機に新たな事業拡大を進めて参ります。



## TOPICS 3

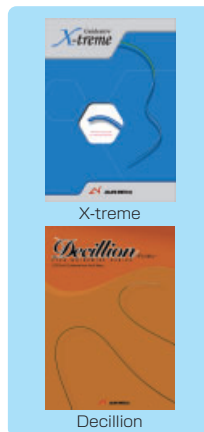
## 新製品のご紹介！

I. メディカル事業：新製品の導入により、より多くの手技を成功へと導きます。

## 心臓病治療

朝日インテックのワイヤー技術を生かし、ガイドワイヤーのラインナップに新たにX-tremeとDecillionが誕生しました。難しいとされてきたCTO等の心臓病治療において両製品の誕生により、これまで不可能であった細い血管や蛇行血管への操作が可能となりました。

※CTO＝慢性完全閉塞



## 腹部治療

マスターズパークウェイは、医療現場の術者からの様々なリクエストを凝縮して開発されたマイクロカテーテルです。術者が選択した血管までストレスを感じることなく追従し、肝癌など、腹部治療に有効です。



II. インダストリアルデバイス事業：地球環境に貢献します。  
従来駆動部品として高評価を得ているシンクロメッシュロープを緑化システムの壁面緑化補助支持材部品として販売し、ヒートアイランド現象の緩和に役立つ緑化システムとして貢献しています。



## TOPICS 4

## 元気なモノ作り企業300社に選定

経済産業省・中小企業庁が選定する『元気なモノ作り企業300社2007年版』に、全国各地で活躍する独自の高い技術を持つ企業として当社が選定されました。この受賞を機に、研究開発型企業としてさらなる発展を目指し邁進して参ります。

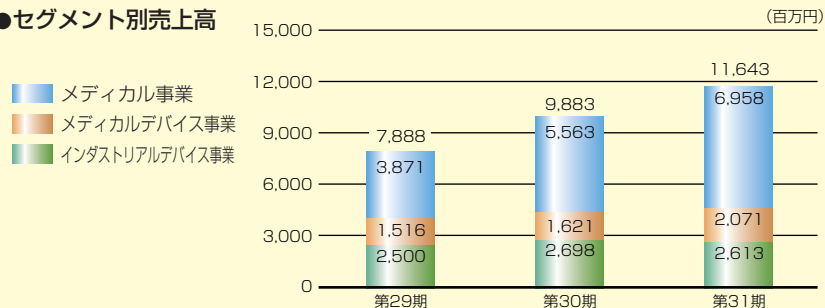


ホームページにて、最新の情報をご覧いただけます。▶ <http://www.asahi-intecc.co.jp/>



当社グループは、製品内容に応じ、  
 メディカル事業、  
 メディカルデバイス事業、  
 インダストリアルデバイス事業の  
 3事業にて構成されております。

## ●セグメント別売上高

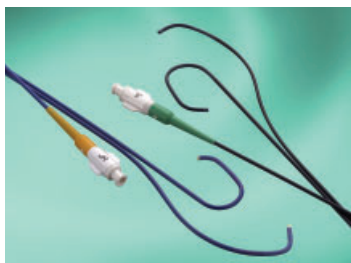


## Medical

### メディカル事業 ～世界市場への展開を加速化～



PTCAガイドワイヤー



PTCAガイドイングカテーテル

メディカル事業では、循環器系を中心とした低侵襲治療（注1）製品について、欧米市場を中心とした世界市場への展開を加速化していくとともに、循環器以外の患部領域における低侵襲治療製品群の強化・拡大に取り組んでおります。現在、PTCA治療（循環器系における低侵襲治療）は、欧米市場を中心に治療件数が増加する傾向にあります。その増加要因としては、食生活の変化等に伴う心臓疾患患者数の増加や、再狭窄率を低減する薬剤ステントが普及していること、さらには他社にはない高い優位性を持ち、かつCTO（注2）治療も可能な当社のPTCAガイドワイヤーが欧米市場にて近年販売開始されたことなどがあげられます。昨今、薬剤ステントの安全性懸念を背景とした薬剤ステント市場の縮小も懸念されておりますが、これは一時的な動向と捉えており、PTCA治療は今後もさらなる拡大が進むことが予測されます。

このような状況の下、治療用カテーテルシステムにつきましては、主力製品PTCAガイドワイヤーについて、国内及び欧米市場を中心とした世界市場全般において引き続き受注が大きく拡大しております。特に、海外の主軸市場である欧米市場におきましては、米国大手の Abbott ラボラトリーズ社とPTCA

ガイドワイヤーの独占販売契約を平成23年12月まで契約締結をしており、今後も順調な取引が続くことが予測されます。

一方、検査用カテーテルシステムについては、競合品との競争激化の影響を受け、前年同期期に対して売上は若干減少いたしました。

以上の結果、売上高は69億58百万円（前年同期比25.1%増）、営業利益は22億79百万円（同15.1%増）となりました。

#### 【注釈説明】

（注）1. 低侵襲治療 / 患者の精神的・身体的ダメージを最小限に抑えるために、開胸・開腹手術をすること無く、太腿や手首から血管を通じて行う傷口や痛みが少ない治療のことをいいます。通常の外科手術に比較し、患者のダメージが軽減されるほか、入院期間が短縮される等の利点があり、また付随して患者の経済的負担の軽減や、政府の医療費抑制策にも貢献する治療法と言われています。

2. CTO / 慢性完全閉塞といって長期間完全に閉塞した状態の病変のことをいいます。従来は、このような病変は外科手術（バイパス手術）の領域でしたが、当社がCTOにも使用可能なPTCAガイドワイヤーの開発に成功したことから、現在では、国内においてはPTCA治療（循環器系における低侵襲治療）が主流となっています。



## Medical Device

### メディカルデバイス事業 ~OEM事業が引き続き好調~



ACTONE® (アクトワン)

メディカルデバイス事業では、平成19年2月に米国大手医療機器メーカーとの全世界向けの腹部用ガイドワイヤーのOEM契約が締結されるなど、新市場・新領域分野への進出が順調に進んでおります。当連結会計年度におきましても、業績は好調に推移しており、OEM供給品につきましては、国内市場向け末梢血管・肝臓癌・透析治療用ガイドワイヤーや、検査用カテーテルシステムなどの従来からの取引製品の受注増加に加え、末梢血管系カテーテルシステムなどの新規取引につきましても複数増加するなど、国内市場向けの低侵襲治療製品を中心に前年同期に対して売上は増加しております。この背景には、国内市場の医療機器について、政府の医療費抑制政

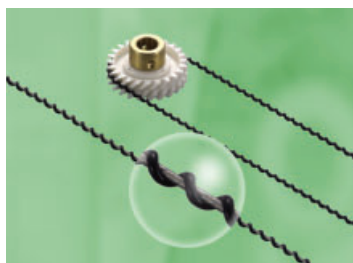
策や、同業者間における価格競争が激化していることによる価格の低下に伴い、大手医療機器企業が強力な販売網を活かし「販売」に注力すべく、「製造」については当社のような技術力、生産力に強みを持つ企業へのアウトソーシングに委ねる傾向にあります。

また、医療用部材についても、国内市場向けの内視鏡関連製品を中心に受注は増加しており、前年同期に対して売上は増加いたしました。

以上の結果、売上高は20億71百万円（前年同期比27.8%増）、営業利益は5億1百万円（同22.0%増）となりました。

## Industrial Device

### インダストリアルデバイス事業 ~高付加価値製品へのシフトを推進~



シンクロメッシュロープ

インダストリアルデバイス事業では、近年、OA機器複合化などに伴う部品市場価格の下落や、国内外の競合メーカーとの価格競争激化など厳しい事業環境が続いております。また最近では、当社製品の原材料であるステンレス等合金鉄の価格の高騰が顕著であり、当事業におきましては、事業の合理化に向けて売上構成の見直しを図り、高付加価値製品へのシフトを積極的に開始しております。

ワイヤー素材については、鮎釣り糸や遊技機関連製品の取引減少などがありました。付加価値の高いトイレ関連製品の取引開始と安定供給、自動車排気ガス浄化装置製造関連製品の堅調な取引などにより、前年同期に対して売上は増加いたしました。

一方、端末加工品については、高機能・高付加価値を有するエアコン関連製品の取引が顧客・市場の評価の高まりとともに拡大し、併せて、大手海外OA機器メーカーに対する新規売上増加もありましたが、OA機器関連製品全般の取引減少などにより、前年同期に対して売上は減少いたしました。

以上の結果、売上高は26億13百万円（前年同期比3.2%減）、営業利益は4億42百万円（同27.5%減）となりました。



## 連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	第30期 (平成18年6月30日現在)	第31期 (平成19年6月30日現在)
<b>[資産の部]</b>		
<b>流動資産</b>	<b>9,102,692</b>	<b>10,277,107</b>
現金及び預金	4,243,545	3,140,070
受取手形及び売掛金	1,970,800	3,111,738
たな卸資産	1,870,797	3,129,568
繰延税金資産	132,904	143,414
その他	887,443	761,401
貸倒引当金	△2,798	△9,086
<b>固定資産</b>	<b>7,739,381</b>	<b>10,816,889</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>5,853,724</b>	<b>7,699,688</b>
建物及び構築物	2,506,935	3,828,153
機械装置及び運搬具	980,224	1,960,370
土地	1,298,386	1,346,248
建設仮勘定	796,603	167,835
その他	271,573	397,079
<b>無形固定資産</b>	<b>143,725</b>	<b>130,030</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>1,741,931</b>	<b>2,987,171</b>
投資有価証券	541,373	1,795,937
繰延税金資産	122,502	1,183
保険積立金	661,488	720,702
その他	440,832	487,262
貸倒引当金	△24,265	△17,915
<b>資産合計</b>	<b>16,842,073</b>	<b>21,093,996</b>

(単位：千円)

科 目	第30期 (平成18年6月30日現在)	第31期 (平成19年6月30日現在)
<b>[負債の部]</b>		
<b>流動負債</b>	<b>3,442,617</b>	<b>4,108,950</b>
支払手形及び買掛金	739,390	816,585
短期借入金	1,384,999	1,958,314
未払金	472,260	301,309
未払法人税等	334,601	316,916
賞与引当金	72,047	77,575
役員賞与引当金	38,000	40,000
その他	401,317	598,248
<b>固定負債</b>	<b>2,047,930</b>	<b>4,007,305</b>
長期借入金	1,479,154	3,278,413
退職給付引当金	162,478	196,139
役員退職慰労引当金	378,966	378,966
繰延税金負債	—	143,179
その他	27,331	10,607
<b>負債合計</b>	<b>5,490,548</b>	<b>8,116,255</b>
<b>[純資産の部]</b>		
<b>株主資本</b>	<b>11,348,369</b>	<b>12,229,834</b>
資本金	4,167,950	4,167,950
資本剰余金	4,060,960	4,060,960
利益剰余金	3,119,615	4,001,080
自己株式	△156	△156
<b>評価・換算差額等</b>	<b>3,156</b>	<b>747,906</b>
その他有価証券評価差額金	△17,977	117,679
為替換算調整勘定	21,134	630,227
<b>純資産合計</b>	<b>11,351,525</b>	<b>12,977,741</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>16,842,073</b>	<b>21,093,996</b>

## 連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	第30期	第31期
	(平成17年7月1日から 平成18年6月30日まで)	(平成18年7月1日から 平成19年6月30日まで)
売上高	9,883,921	11,643,659
売上原価	4,331,489	5,000,176
売上総利益	5,552,431	6,643,482
販売費及び一般管理費	3,569,531	4,542,155
営業利益	1,982,900	2,101,326
営業外収益	60,138	171,617
営業外費用	47,306	70,741
経常利益	1,995,732	2,202,203
特別利益	1,409	2,594
特別損失	241,200	97,369
税金等調整前当期純利益	1,755,941	2,107,428
法人税、住民税及び事業税	729,911	786,050
法人税等調整額	△50,272	162,492
少数株主損失	1,890	-
当期純利益	1,078,193	1,158,884

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	第30期	第31期
	(平成17年7月1日から 平成18年6月30日まで)	(平成18年7月1日から 平成19年6月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,423,353	16,005
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,243,585	△2,523,004
財務活動によるキャッシュ・フロー	△175,442	1,991,001
現金及び現金同等物に係る換算差額	63,118	82,506
現金及び現金同等物の減少額	△932,556	△433,490
現金及び現金同等物の期首残高	4,185,578	3,253,022
現金及び現金同等物の期末残高	3,253,022	2,819,531

## 連結株主資本等変動計算書 (平成18年7月1日から平成19年6月30日まで)

(単位：千円)

科 目	株 主 資 本					評価・換算 差額等合計	純資産合計
	資 本 金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
平成18年6月30日残高	4,167,950	4,060,960	3,119,615	△156	11,348,369	3,156	11,351,525
連結会計年度中の変動額							
剰余金の配当			△277,419		△277,419		△277,419
当期純利益			1,158,884		1,158,884		1,158,884
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						744,750	744,750
連結会計年度中の変動額合計	-	-	881,465	-	881,465	744,750	1,626,215
平成19年6月30日残高	4,167,950	4,060,960	4,001,080	△156	12,229,834	747,906	12,977,741

## 貸借対照表

(単位：千円)

科 目	第30期 (平成18年6月30日現在)	第31期 (平成19年6月30日現在)
<b>[資産の部]</b>		
<b>流動資産</b>	<b>7,148,827</b>	<b>7,572,167</b>
現金及び預金	2,524,274	1,766,172
受取手形	487,659	445,824
売掛金	1,812,562	2,452,070
有価証券	2,000	-
製品	694,331	1,042,019
原材料	291,454	404,028
仕掛品	219,705	272,357
貯蔵品	12,586	15,209
関係会社短期貸付金	48,000	108,000
前払費用	63,704	69,164
繰延税金資産	73,932	61,833
未収入金	728,655	800,303
その他	190,997	135,368
貸倒引当金	△1,037	△184
<b>固定資産</b>	<b>8,890,457</b>	<b>11,416,588</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>3,758,101</b>	<b>4,268,339</b>
建物	1,828,214	2,182,825
構築物	123,378	106,657
機械及び装置	395,810	535,291
車両及び運搬具	224	200
工具器具及び備品	197,001	246,300
土地	1,157,743	1,175,335
建設仮勘定	55,728	21,729
<b>無形固定資産</b>	<b>102,803</b>	<b>122,463</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>5,029,553</b>	<b>7,025,785</b>
投資有価証券	541,373	1,795,937
関係会社株式	1,384,041	1,384,041
出資金	1,100	1,100
関係会社出資金	547,850	1,016,930
関係会社長期貸付金	1,472,000	1,764,000
破産更生債権等	315	315
長期前払費用	1,830	958
繰延税金資産	314,871	175,485
保険積立金	661,488	720,702
会員権	32,968	38,883
その他	95,980	145,431
貸倒引当金	△24,265	△18,000
<b>資産合計</b>	<b>16,039,284</b>	<b>18,988,756</b>

(単位：千円)

科 目	第30期 (平成18年6月30日現在)	第31期 (平成19年6月30日現在)
<b>[負債の部]</b>		
<b>流動負債</b>	<b>3,722,857</b>	<b>3,955,313</b>
支払手形	572,779	520,742
買掛金	710,442	980,843
短期借入金	470,000	160,000
一年以内返済予定長期借入金	914,999	1,321,214
未払金	410,790	264,012
未払費用	79,941	88,150
未払法人税等	271,938	251,389
前受金	721	576
預り金	76,895	81,503
賞与引当金	70,432	73,664
役員賞与引当金	38,000	40,000
その他	105,916	173,217
<b>固定負債</b>	<b>2,018,142</b>	<b>3,851,637</b>
長期借入金	1,479,154	3,278,413
退職給付引当金	160,022	191,773
役員退職慰労引当金	378,966	378,966
その他	-	2,484
<b>負債合計</b>	<b>5,741,000</b>	<b>7,806,950</b>
<b>[純資産の部]</b>		
<b>株主資本</b>	<b>10,316,262</b>	<b>11,064,126</b>
資本金	4,167,950	4,167,950
資本剰余金	4,060,960	4,060,960
資本準備金	4,060,960	4,060,960
利益剰余金	2,087,509	2,835,373
利益準備金	39,841	39,841
その他利益剰余金	2,047,667	2,795,531
別途積立金	75,000	75,000
繰越利益剰余金	1,972,667	2,720,531
自己株式	△156	△156
<b>評価・換算差額等</b>	<b>△17,977</b>	<b>117,679</b>
その他有価証券評価差額金	△17,977	117,679
<b>純資産合計</b>	<b>10,298,284</b>	<b>11,181,805</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>16,039,284</b>	<b>18,988,756</b>

## 損益計算書

(単位：千円)

科 目	第30期	第31期
	(平成17年7月1日から 平成18年6月30日まで)	(平成18年7月1日から 平成19年6月30日まで)
売上高	9,934,732	11,258,812
売上原価	5,486,620	5,993,458
売上総利益	4,448,111	5,265,354
販売費及び一般管理費	3,112,087	3,704,680
営業利益	1,336,023	1,560,673
営業外収益	32,719	207,296
営業外費用	43,975	63,651
経常利益	1,324,767	1,704,319
特別利益	-	1,933
特別損失	217,521	97,340
税引前当期純利益	1,107,245	1,608,912
法人税、住民税及び事業税	521,028	524,252
法人税等調整額	△112,191	59,376
当期純利益	698,409	1,025,283

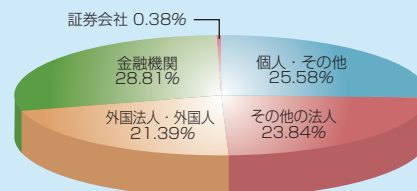
## 株式の状況 (平成19年6月30日現在)

発行可能株式総数	25,000,000 株
発行済株式の総数	15,852,600 株
株主数	2,140 名

### ●大株主

株 主 名	持株数 (株)	議決権比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,815,200	11.45
アイシーエスピー有限公司	1,500,000	9.46
宮田 昌彦	1,481,200	9.34
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	1,116,300	7.04
宮田 憲次	907,700	5.73
株式会社ゲッツブラザーズ	708,000	4.47
株式会社ハイレックスコーポレーション	600,000	3.78
カセイバンクグループクライアントアカウント	431,000	2.72
バンクオブニューヨークシーエムクライアントアカウントアイエスジー	312,382	1.97
宮田 尚彦	312,200	1.97

### ●所有者別株式分布状況 (株式数15,852,600株、株主数2,140名)



## 株主資本等変動計算書 (平成18年7月1日から平成19年6月30日まで)

(単位：千円)

科 目	株 主 資 本					評価・換算 差 額 等	純資産合計
	資 本 金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
平成18年6月30日残高	4,167,950	4,060,960	2,087,509	△156	10,316,262	△17,977	10,298,284
事業年度中の変動額							
剰余金の配当			△277,419		△277,419		△277,419
当期純利益			1,025,283		1,025,283		1,025,283
株主資本以外の項目の事業 年度中の変動額 (純額)						135,656	135,656
事業年度中の変動額合計	-	-	747,864	-	747,864	135,656	883,521
平成19年6月30日残高	4,167,950	4,060,960	2,835,373	△156	11,064,126	117,679	11,181,805



## ▶ 会社の概要

商号	朝日インテック株式会社 ASAHI INTECC CO.,LTD.
設立	昭和51年7月8日
資本金	41億6,795万円
従業員数	●単体 331名（平成19年6月30日現在） ●連結2,104名（平成19年6月30日現在）
本社	〒463-0024 名古屋市守山区脇田町1703番地 TEL 052-768-1211（代）
事業内容	①心臓循環器系疾患の診断および治療分野においての低侵襲治療製品（治療用カテーテルシステム、検査用カテーテルシステム）の開発・製造・販売 ②ワイヤー素材、アセンブリ品等の産業用ステンレスワイヤーロープの開発・製造・販売 ③消化器分野、循環器分野、透析分野、放射線分野における低侵襲治療製品・部材の開発・製造およびOEM供給

## 役員（平成19年6月30日現在）

代表取締役社長	宮田尚彦
代表取締役副社長	宮田昌彦
専務取締役	竹内謙弉
常務取締役	川西俊昭
常務取締役	福井芳彦
取締役	湯川一平
取締役	宮田憲次
常勤監査役	前田善雄
常勤監査役	渡辺行祥
監査役	佐藤昌巳
監査役	百瀬登

（注）監査役佐藤昌巳および百瀬登は、社外監査役であります。

## 事務所

### ●国内事業所

東京営業所	東京都品川区
名古屋営業所	名古屋市守山区
大阪営業所	大阪府和泉市
メディカル事業部	愛知県瀬戸市
大阪R&Dセンター	大阪府和泉市
大阪物流センター	大阪府高石市

### ●海外事業所

香港支店	中国 香港
EU支店	オランダ アムステルダム
シンガポール駐在所	シンガポール ビシャン地区
東莞石龍朝日精密鋼線廠	中国 広東省東莞市

### ●関連会社

ASAHI INTECC THAILAND CO.,LTD.	タイランド パトゥムタニ県
ASAHI INTECC USA,INC.	米国 カリフォルニア州
ASAHI INTECC HANOI CO.,LTD.	ベトナム ハノイ市
フィルメック株式会社	名古屋市守山区
コンパスマッドインテグレーション株式会社	東京都新宿区



本社（名古屋市守山区）



ASAHI INTECC HANOI CO.,LTD.



ASAHI INTECC THAILAND CO.,LTD.



メディカル工場（左）デバイス工場（右）

## ▶株主メモ

証券コード	7747
決算期	6月30日
定時株主総会	毎年9月
株主確定基準日	定時株主総会・期末配当金 6月30日 中間配当金 12月31日

**株主名簿管理人** 三菱UFJ信託銀行株式会社  
**同事務取扱場所** 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

**同取次所** 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店  
 野村證券株式会社 全国本支店

**お問い合わせ先**  
**（郵便物送付先・電話照会先）**  
 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 TEL 0120-232-711（フリーダイヤル）

**公告方法**  
 当社ホームページ  
 (<http://www.asahi-intecc.co.jp/>)  
 に掲載します。

ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

**株券の種類** 100株券、1,000株券

**1単元の株式数** 100株

**上場証券取引所** 東京証券取引所市場第二部  
 名古屋証券取引所市場第二部  
 ジャスダック証券取引所

**IR情報は、ホームページ上でもご覧になれます。**

ニュースリリース、財務情報、株主情報など、ホームページ上で最新の情報をご提供しております。

▶ <http://www.asahi-intecc.co.jp/>

株主様向け  
アンケート

## 株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、下記の方法にてアンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、  
アクセスコード入力後に表示される  
アンケートサイトにてご回答ください。  
所要時間は5分程度です。



<http://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード 7747

携帯電話からもアクセスできます



QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



空メールによりURL自動返信



kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

- アンケート実施期間は、本年次報告書がお手元に到着してから約2ヶ月間(平成19年11月30日まで)です。

その他ご意見がございましたら、誠にお手数ですが当社ホームページ「お問い合わせ」にご記入ください。  
<http://www.asahi-intecc.co.jp/>



※本アンケートは、株式会社エーツメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

- アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」  
TEL: 03-5777-3900 MAIL: info@e-kabunushi.com

## 朝日インテック株式会社

〒463-0024 名古屋市守山区脇田町1703番地  
TEL 052-768-1211 (代)

<http://www.asahi-intecc.co.jp/>



古紙/バブル配合率100%再生紙



この印刷物は環境に配慮した「大豆油インキ」を使用しています。